



今月の題字
横田華凜ちゃん
(山田南小3年)

町のわだい

境田地区 安西ミツさんが100歳に 多くの祝福に笑顔で応える

境田町の安西ミツさん（明治39年8月7日生まれ）が満100歳の誕生日を迎えました。8月25日、介護老人保健施設シーサイドから（近藤勝雄施設長）で安西さんの「百歳を祝う会」が開かれ、安西さんに近藤施設長から印籠と「印籠の掟」、沼崎喜一町長から長寿祝い金が贈られました。97歳まで経理の仕事をされており、ご自分の生い立ちを紹介する文章も自筆で書かれるなど、まだまだ現役の安西さん。ご家族や入所者の皆さんからの多くの祝福に笑顔で応えていました。



鯨と海の科学館に白いウニ 大きさと色で注目を集める

鯨と海の科学館（阿部哲雄館長）に山田湾で採れた白いウニが持ち込まれ、展示されています。これは7月27日にウニ漁をしていた刈屋健郎さん（山田・46歳）が採捕したもので、体長は約15㍍、キタムラサキウニが突然変異で白くなったものとみられています。白い生物は体が弱いことから長く生きられないことが多く、ここまで大きいものは珍しいとのこと。このウニは水槽の中でもひとときわ目立つ存在で、来場者の注目を集めていました。



宮古商生徒6人が職場体験 勤労の喜びを肌で感じ取る

8月29日と30日、県立宮古商業高校（千葉孝夫校長・生徒497人）の2年生6人が町役場を訪れ、インターンシップ（職場体験）事業を行いました。これは職業観の育成や社会マナーの体得を目的として同校が実施しているもので、訪れた6人はいずれも山田中の出身。保健福祉課に配属された細田霞さんは、「机での事務仕事ばかりだと思っていましたが、外勤する業務もあり楽しかったです」と勤労の喜びを肌で感じ取っていました。



山田高生徒が保育園で育児体験 遊びの中から多くを学ぶ

8月3日、織笠保育園（上野美智子園長・園児47人）で「あかちゃんふれあい体験事業」が行われました。これは育児体験を通じて中高生の健全育成を進めることを目的に本年度から始められたもので、当日は山田高の2年生と3年生8人が参加。園庭で一緒に遊んだり、食事を食べさせたりするなど、園児との交流を楽しみました。参加した生徒は「一緒に遊ぶことで、子供たちとの接し方などとても勉強になりました。将来は保育士を目指したい」とこの体験で多くのことを学んだ様子でした。



元日本代表 田口さんがサッカー教室 小学生50人に基礎を指導

8月8日、サッカー元日本代表で国際学院高校サッカー部総監督の田口光久さんのサッカー教室が開催されました。これは、同高校サッカー部が本町で合宿を行った際に山田サッカー協会と山田町商工会青年部が働きかけて実現したもので、同教室には町内の小学生50人が参加。子供たちは真剣な表情で、全日本の主将も務めた田口さんの指導を受けながら、シュートやパス、ドリブルなどの基礎を学んでいました。

町内5団体に資機材を交付 自主防災活動の向上を図る

町内の自治会や自主防災組織など5団体に町から防災資機材が交付されました。これは、自主防災組織育成事業の一環として防災活動の向上を目的に行われたものです。交付式は8月29日、役場3階大ホールで行われ、北浜、愛宕、飯岡、船越、大浦の各団体の代表者に沼崎喜一町長から交付書が手渡されました。交付された資機材はハンド型メガホン、ヘルメット、折り畳み式リヤカーなどで、今後、各地区での防災活動に活用されます。

